



2021/
1・2月号

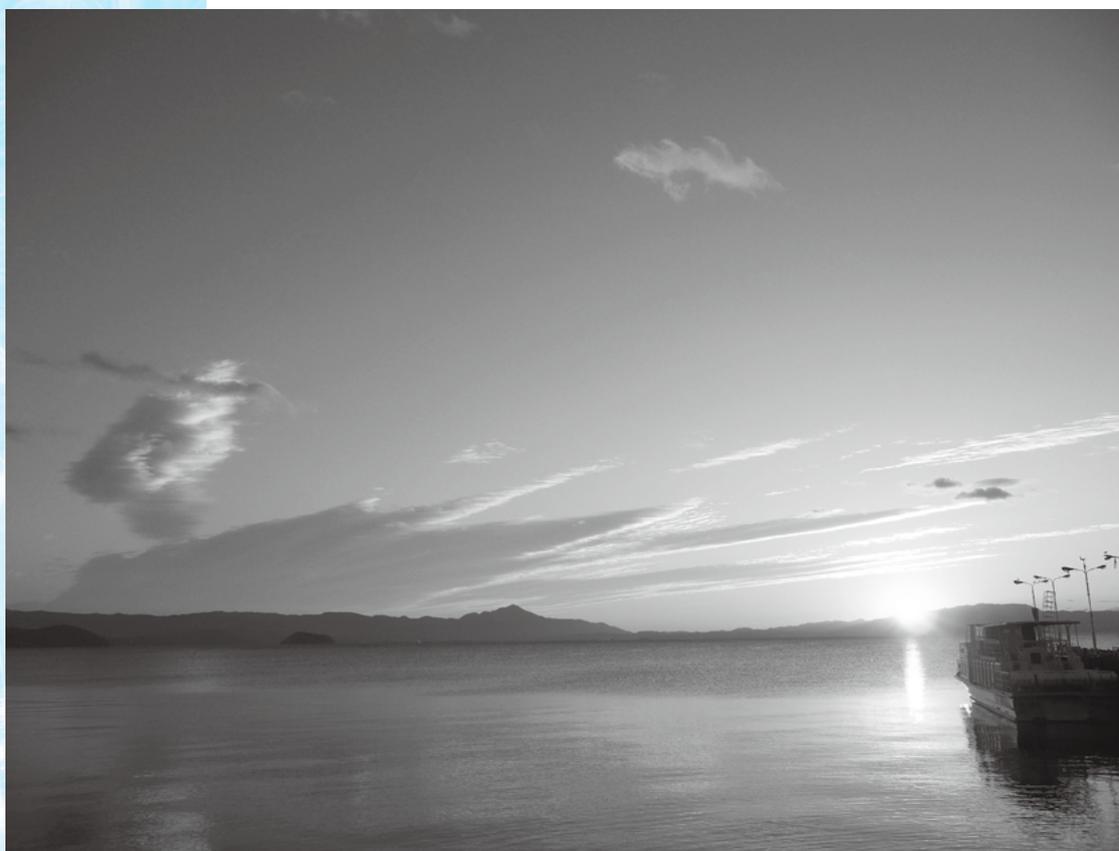
湖国が滋る・水と緑の街づくり

令和3年1月1日発行 通巻296号
昭和40年8月21日第3種郵便物認可
発行／公益社団法人 滋賀県建築士会
〒520-0801
滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

C O N T E N T S

- ・年頭所感…………… 2
- ・渉外事業委員会…………… 4
令和2年度【建築士定期講習】
追加開催ご案内
- ・まちづくり委員会
「けんせつフェスタしが」事業報告
- ・情報広報委員会
2021年度フォトコンテスト作品募集
- ・青年委員会…………… 5
会員及び家族親睦事業
—賤ヶ岳秋の紅葉登山—
事業報告
- ・地区だより
- ・地区だより…………… 6
- ・地区別会員数
- ・1月、2月の暦



表紙：地区の名所探訪シリーズ 第4回
フォトコンで賞を頂いた「今津港の朝」 高島市今津町

年頭所感

公益社団法人 滋賀県建築士会
会長 山本 勝義



令和2年11月8日、秋篠宮さまが、皇位継承順位一位になられたことを広く国内外へ示す「立皇嗣の礼」が開催されました。

当初は、令和2年4月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で延期されておりました。令和元年5月の天皇陛下ご即位の関連行事の締めくくりとなる「立皇嗣の礼」であります。皇位継承の諸行事が、つつがなく、厳かに行われたことを国民の一人として、このコロナ禍だからこそ喜びたいと存じます。

今年（令和3年）、日本は皇紀2681年であります。

海に囲まれた小さな島国が、さまざまな試練を経ながら高い民度と文化を備え、今日まで発展してきたのはなぜでしょうか。そこに盛衰の原理のヒントがあるように思われます。

例えば、伊勢神宮では、正殿をはじめ社殿のすべてを新たに造り替える式年遷宮^{せんぐう}が、20年に1回行われてきました。現在まで実に62回行われてきています。費用はおよそ総工費550億円。うち220億円は国民からの志によると聞きます。

第1回の式年遷宮が行われたのは持統天皇時代690年。

戦国時代に中断されたことはありましたが、以来1330年、この行事は連綿と続けられています。

伊勢神宮だけではなく、全国でその地にある神社が地域の人々によって大事に護持されています。

これは世界の驚異と言っても良いくらいであります。

上智大学の名誉教授であられた 渡部昇一氏に伺った話ですが、氏は若い頃、ギリシャのスニオン半島を2週間ほど旅し、ポセイドン神殿はじめ、多くの遺跡を見て廻られた。

帰国後、石巻に行った印象が忘れられないという。

石巻には港を見下ろす丘に大きな神社があり、その祭りを町を挙げて祝っていた。

海を見晴らす丘に海神を祀るのはギリシャも日本も同じだが、ギリシャの神は、はげ山の中の遺跡と化している。しかし、日本の神は、豊かな鎮守の森に包まれて社に鎮座し、住民がこぞって祝っている。

「古代ギリシャ文化は、もはや死んでしまったが、古代日本文化は今もまさに生きているのです。」

この事実は何を物語るのか。ギリシャ神話は有名だが、神々の系譜は神話の中だけで完結、断絶し、いまに繋がっていない。

これに対して日本は、天照大神の系譜に繋がる「万世一系^{ばんせいいつけい}」の天皇という具体的な存在を軸に、我われの先祖は目に見えないもの、人知を超えたものを畏敬^{いけい}し、尊崇^{そんすう}する心を2000年以上にわたって持ち続けてきた、ということである。

そしてこの民族の魂は今日もお生き続けている、ということでもあります。

目に見えないものへの畏敬、尊崇の念は、自らを律し、慎む心を育んでいきます。

「心だに 誠の道にかなひなば 祈らずとて神や守らむ」という心的態度はこの国に住む人たちに共通した価値観となって定着しました。

言い換えれば、私たちの先祖は「自反^{じはん}尽己^{じんじ}」に生きたのです。

自反とは指を相手にむけるのではなく、自分に向ける。すべてを自分の責任と捉え、自分の全力を尽くすことです。そういう精神風土を保ち続けたところに、この国の繁栄の因がある様です。

同時に忘れてならないのが、我われの先祖が絶えず後から来る者のことを考え、遠き慮^{おもんばかり}の心を持ち続けたことにあります。

詩人の坂村真民先生はそういう先人の祈りを象徴するような詩を残しておられます。

《あとから来る者のために

田畑を耕し 種を用意しておくのだ

山を 川を 海を きれいにしておくのだ

ああ あとから来る者のために

苦勞をし 我慢をし みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる あの可愛い者たちのために

みなそれぞれ自分にできる なにかをしていくのだ》

毎年、初日の出を拝むと、うかんでくる和歌があります。明治天皇の御製です。

「あさみどり 澄みわたりたる大空の 廣きをおのが心ともがな」

「さしのぼる 朝日のごとくさはやかにも たまほしきは心なりけり」

自己修養のお心の強さが伝わってくる御製であります。明治天皇はそういうお方であったのでしょうか。御製をもう一首。

「冬ふかき 池のなかにもほとぼしる 水ひとすぢはこほらざりけり」

池の全面が凍ってしまうような真冬の寒さでも、ほとぼしる水は凍らない、と詠まれています。

明治というのは西欧の技術文明が怒涛のように押し寄せ、日本が国のあり方を見失いかけている時代でもありました。明治22年、『日本』という新聞を発刊した陸羯南氏は、その創刊の辞に当時の様相をこう述べています。

「近世の日本は其の本領を失い自ら固有の事物を棄つるの極、殆ど全国民を挙げて泰西（西洋）に帰化せんとし、日本と名づくる此の島地は漸く將に與地図（世界地図）の上にただ空名を懸くるのみならんとす」

全国民が西洋に心を奪われ浮き足立っている様子が、端的に記されている。

こういう潮流の中で明治天皇の御製は詠まれたのであります。

どのような時代の変遷に遭おうとも、日本は、日本を、日本たらしめているものを見失ってはならぬ。

明治天皇の「一を抱く」とは、これではなかったろうか。深く噛みしめたい三首の御製です。

「一を抱く」とは、ひたすら一つの道を歩むこと、自らの心に「一」の思いを抱いて生きること。

「一を抱く」を表わす禅の言葉に、「向上向下の道」があります。

「人は皆生まれると、知らぬうちに向上門をくぐり、向上に励む。己とは何かを問いかけ、一歩一歩向上の道を上がっていく。しかし、それは独りの道である。一人を究めんとする孤独の道。その道の先には向下門という門がある。それは自分が究めたことを世の人々に示せるか、どんな人にも分かる言葉で示せるかを試される門。この向下門を下り得た者のみが本当の意味での人生の合格者だ」

賢人はこの「向上向下の道」を歩まれている。

それは生涯にわたって「一を抱く」者のみに可能な世界であります。

二度とない人生、私たちもまた「一を抱いて」生きたいものであります。

新しい年を迎える事ができました。本年も宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスによる未曾有の災害とも言える様な現下の状況を目の前にして、この最悪の事態により、とことん追い詰められた今こそ、自分だけでなく、家族、職場の共に働く仲間の人たち、全ての生命を守り、大切に行かなければなりません。

まずは、自らがウイルスに感染せず、人に感染させないことを最大限注意しながら、日々の努めに励んで頂きたいと思います。

くれぐれもご自愛頂き、会員の皆様にとって有意義な一年となります様、心からご祈念申し上げます。

本年も、滋賀県建築士会にご理解とご支援を賜り、今年こそは喜び多き一年となります事を心より祈念致しております。

渉外事業委員会

令和2年度 【建築士定期講習】追加開催ご案内

追加開催予定

定員：40名 受講料：12,980円 会場コード

追加6 令和3年2月19日(金) 【5A-11】

受付期間 令和2年8月3日～令和3年2月5日

追加7 令和3年3月24日(水) 【5A-12】

年度内最終回

受付期間 令和2年8月3日～令和3年3月12日

開催場所 滋賀県建設会館（大津市におの浜）

DVD講習

※受付期間であっても定員になり次第、締め切ります。
※講習の詳細は予告なく変更する場合があります。

■お申し込み・お問い合わせ

公益社団法人 滋賀県建築士会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-18

TEL 077-522-1615

まちづくり委員会

「けんせつフェスタしが」 事業報告

時折小雨混じりではありましたが、11月27日に総入場者数1,500名余りをお迎えし、「けんせつフェスタしが」が開催されました。

建築士会は構成団体として参画出展させて頂き、コロナ禍での今年は趣向を変え、表面にレンチキュラーを、裏面には建築士会をアピールするQRコードを記載した名刺を配布させて頂きました。大人の方もお子様にも好評であったように感じました。同時に住宅相談会も開催しましたがこちらにはお問い合わせがありませんでした。計6名の会員の方にお手伝いいただき、無事フェスタを終えることができました。早朝からのご協力をありがとうございました。



情報広報委員会

2021年度 フォトコンテスト作品募集

会員のみなさまの自慢の作品を
お待ちしております。

作品のテーマ 「**全集中**」の部・「フリー」の部

(風景・建物など被写体は問わない)

応募資格 会員による自作作品。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可、応募点数は問わないが、作品は未発表のものに限る。

賞金 大賞作品、入選作品には賞金を予定。

募集期間 令和3年1月～令和3年2月12日

審査 第12回「未来の家、未来のまち」子ども立体作品展会場にご来場の方々の投票による審査。

発表 令和3年5月発行の機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表(<http://www.kentikusikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項を記入、作品の裏面に糊付けの上、(公社)滋賀県建築士会事務局まで持参、または郵送。

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階 (公社)滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

応募細則 1. 応募作品の著作権は、主催者に帰属し、肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとする。
2. 応募作品は返却しない。ただし、返却希望者は着払便(ヤマト運輸予定)にて返却する。



主催団体 公益社団法人滋賀県建築士会

公益社団法人滋賀県建築士会2021年フォトコンテスト応募票

作品名	テーマ			
コメント				
応募者氏名 (会員氏名)	撮影場所			
住所	〒			
連絡先TEL	撮影年	返却	必要・不要	

※取得した個人情報、フォトコンテスト事業以外に使用いたしません。

会員及び家族親睦事業 - 賤ヶ岳秋の紅葉登山 - 事業報告

11月14日、長浜市の賤ヶ岳にて、会員及び家族親睦事業-秋の紅葉登山-を開催いたしました。登山事業は以前に伊吹山で開催されましたが、今回の事業は会員及び家族親睦を兼ねていましたので、初めて登山をする方、お子さんの参加も配慮して初心者向けルートのある賤ヶ岳を選定しました。当日は雲一つない快晴で登山日和となりました。余呉湖観光館へ集合し、コロナ対策・熊対策を行い、万全の体制で江土登山口より入山しました。中川清秀の墓、首洗の池、猿が馬場等の名所がある山頂まで片道約4.2kmのコースを登りました。登り始めは少し急登になっており、しばらくは穏やかな傾斜の登山道でしたが、山頂手前で再び急登になっていました。計画中は子ども達が登りきれぬか心配をしていましたが、先頭を切って登り、運動不足の大人達を引っ張ってくれました。登山中は通りすぎる登山客の方と自然と挨拶をかわすことが気持ちよく感じました。普段なかなか登山をする機会が無く新鮮であったのか、ご家族・会員同士で話が盛り上がり、順調に登ることができ、予定よりも早く山頂へ到着することが出来ました。山頂は少し風が強かったですが、天候が良く余呉湖と琵琶湖がはっきりと一望出来ました。紅葉も色づいてきていたので、他の登山客の方も賑わっていました。山頂では地元の名物を頂きながら、ボランティアガイドさんによる賤ヶ岳の歴史を聞き学びました。子ども達にはアニメのゲームを取り入れ、楽しんでもらいました。下りは余呉湖まで下山し、観光館まで余呉湖畔を歩きました。コロナ禍で遠出ができない現在ですが、普段体験のできない登山で皆さんと親睦がはかれ有意義な事業となりました。

青年委員会 谷村尚哉



湖北地区

令和2年度「手ぶらでBBQまつり」報告書

令和2年10月26日、ローザンベリー多和田にて、滋賀県建築士会湖北地区・長浜建築施工管理技士会の方々を対象に「手ぶらでBBQまつり」を開催させていただきました。当初8月に予定しており、悩んだ末、一旦は中止といたしました。しかし今回、施設側も十分に予防対策がなされていることや、各ブースの使用人数を減らすことで密を避ける措置、また個人の予防対策への自覚も日常化してきたことを踏まえ、開催させて頂く運びとなりました。参加いただいたのは50名。お肉のボリュームは十分で、飲み放題付、最後はデザートもあり、ご満足頂けたと思っております。毎年恒例となりつつあるこの親睦事業については、新型コロナウイルスの動向など、安全・安心で行える環境を整えて、いよいよ親睦を深めるべく恒例事業として行って参りたいと思っております。最後にご協力いただきました関係者様各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。



親睦交流事業ゴルフコンペ大会

令和2年11月19日(木)彦根カントリー倶楽部にて毎年恒例になっています、湖北地区・長浜建築施工管理技士会合同の親睦交流事業ゴルフコンペ大会を開催いたしました。当日は澄みわたる青空の下、11月を感じさせないくらいの暖かさで、絶好のゴルフ日和となりました。

ゴルフ大会ではコロナ対策を心がけ、上級者・初心者関係なく、皆さんがたいへん笑顔でプレイされていたのが印象的でした。プレイ後、クラブハウスにて表彰式を行ないました。参加者からは楽しかったという感想をたくさんいただき、親睦交流事業としてとても良い1日になりました。昨年と同様に多くのお申し込みをいただき、他地区の方々にもご参



加をいただき誠にありがとうございました。また来年も企画し建築士の仲間と語り合える親睦の場になればと考えています。

暑いぐらいのいいお天気

大津地区・湖南地区

びわこ東海道景観基本計画(案)に関する公聴会及び計画説明会の開催のお知らせ

大津地区と湖南地区が共同で10年間取り組んできた景観事業が実を結び、両市における「びわこ東海道景観基本計画(案)」が計画され、公聴会及び計画説明会が開催される運びとなりました。

参加無料で開催されますので、是非ともご参加ください。

日時 令和3年1月9日(土)
【午前の部】10時00分から11時30分まで
【午後の部】14時00分から15時30分まで
場所 **【午前の部】**大津市民会館 小ホール

大津市島の関14-1

※会場へは、公共交通機関を御利用ください。

【午後の部】草津市立市民交流プラザ 大会議室
 草津市野路一丁目15-5 フェリエ南草津5階
 ※お車でお越しの場合は、市営駐車場(南草

津自転車自動車駐車場)を御利用ください。
 市民交流プラザ事務室にて4時間無料の処理を致します。

※それぞれの会場で行われるイベントは同じ内容です。ご都合のよい会場に足をお運びください。

応募方法 下記応募票に記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

大津地区事務局 FAX 077-544-6500

申込期限 令和3年1月6日(水)

びわこ東海道景観基本計画(案)に関する公聴会及び計画説明会の	
<input type="checkbox"/>	【午前の部】に参加します
<input type="checkbox"/>	【午後の部】に参加します
氏名:	
メール:	
電話番号:	

地区別会員数 令和2年12月1日現在

支部	10月	12月	差引
大津	202	198	▲4
湖南	147	147	0
甲賀	75	75	0
湖東	103	103	0

彦根	79	79	0
湖北	137	136	▲1
高島	62	62	0
湖西滋賀	23	23	0
計	828	823	▲5

1月の暦

日	祝日	月	大安	赤口	先勝	友引	仏滅
1	金 元日	18	月	大安			
2	土 大安	19	火	赤口			
3	日 赤口 ~3日 事務局 年末年始休暇	20	水	先勝	青年委員会 地方建築士研鑽事業 ドローン体験会 Sky!Sky!Sky! ~大空に思いを馳せて~ 被災建築物応急危険度判定士 登録認定講習会 定期講習・監理技術者講習	友引	仏滅
4	月 先勝						
5	火 友引						
6	水 先負						
7	木 仏滅	21	木	友引	定期講習・監理技術者講習		
8	金 大安 合同年賀会	22	金	先負	情報広報委員会 四役会・四役委員長会議		
9	土 赤口	23	土	仏滅			
10	日 先勝	24	日	大安			
11	月 友引 成人の日	25	月	赤口			
12	火 先負	26	火	先勝			
13	水 赤口	27	水	友引			
14	木 先勝 情報広報委員会	28	木	先負			
15	金 友引	29	金	仏滅			
16	土 先負	30	土	大安			
17	日 仏滅	31	日	赤口			

2月の暦

1	月 先勝	15	月 仏滅
2	火 友引	16	火 大安
3	水 先負	17	水 赤口
4	木 仏滅	18	木 先勝
5	金 大安 定期講習(DVD講習)	19	金 友引 定期講習(DVD講習)
6	土 赤口	20	土 先負 子ども立体作品展・ フォトコンテスト
7	日 先勝	21	日 仏滅
8	月 友引	22	月 大安
9	火 先負	23	火 赤口 天皇誕生日
10	水 仏滅 情報広報委員会 四役会・理事会	24	水 先勝
11	木 大安 建国記念の日	25	木 友引
12	金 先勝	26	金 先負
13	土 友引	27	土 仏滅
14	日 先負	28	日 大安

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

令和3年元旦 情報広報委員会 一同